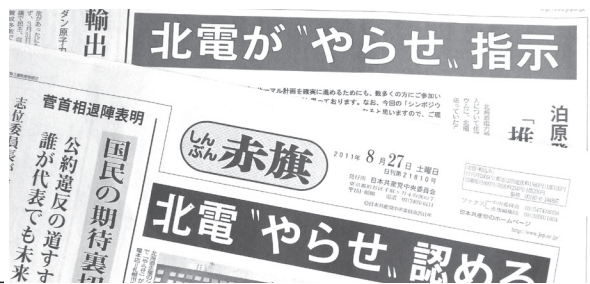


道主催シンポ 泊原発

北電の「やらせ」をスクープした「しんぶん赤旗」(8月26、27日付)

北電も“やらせ”

「赤旗」またスクープ



北海道電力泊原発3号機へのプルサーマル導入について意見を聞く2008年10月の道主催シンポに、北電が社員に参加と推進意見をのべるよう社内通達を送っていたことが8月26日付の「しんぶん赤旗」報道で明らかになりました。九州電力の「やらせ」メール問題につづく「赤旗」のスクープ。北電は報道を認めました。

プルサーマル導入ねらう

「赤旗」が入手した北電の社内文書には「プルサーマル計画を確実に

進めるためにも、数多くの方にご参加いただき推進意見を提出していただければ」と書いてあります。

3号機の営業運転中止を

九電に始まった“やらせ”問題は、“やらせ”が原発推進の常とう手段であることを示しています。泊原発3号機は、北海道の高橋知事が再開を容認しました(8月17日)。“やらせ”なしに原発の安全性を説明できないことが明らかになった以上、営業運転はきっぱり中止すべきです。

徹底究明 国の責任で

北海道電力の“やらせ”について日本共産党は、海江田経産相(当時)にたいし国の責任で徹底究明するよう申し入れました。同時に、北電が「なかった」としている国主催のシンポへの“やらせ”、原子力安全・保安院の指示がなかったかについても調査するよう求めました(8月30日)。北電はその後、国主催のシンポでも“やらせ”をしたことを認めました(同31日)。

プルサーマル 原発の使用済み核燃料から取り出したプルトニウムを軽水炉型原発の燃料として使うもの。原発の設計段階ではまったく想定されていないうえ、プルトニウムはウランよりはるかに高い放射能をもっているなど危険な技術です。

原発推進の常とう手段

野田



新

首相

「大連立」「大増税」推進 古い政治、国民の願いと矛盾



記者会見する志位和夫委員長。右は笠井亮衆院議員。8月30日、国会内

民主党の野田佳彦代表が首相に選出されました。野田氏は消費税増税を繰り返し明言し、「大連立」については「(自公に)101回でもプロポーズしていく」とまで言っています。自民、公明にすり寄って、民主党政権の延命をはかる姿勢がクッキリです。

いま消費税増税、原発推進など古い自民党政治を進める「民主、自民、公明の翼賛体制」ともいうべきものがつくられつつあります。しかし、この流れは「政権交代」に託した国民の願いを裏切るものです。日本共産党の志位和夫委員長は記者会見で、これと正面から対決し、古い政治の枠組みを大本から変える仕事にとりくむと表明しました。

日本共産党

「民・自・公翼賛体制」と対決

近畿民報

発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所
2011年9月号

〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目
15番7号USビル2F
Tel.06(6764)9111 Fax.06(6764)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

日本共産党は以上の見解を発表しました。